

学生のみせ
島町
2-5535

七十円値上げ決まる
臨時生徒総会開かれる

説 一般に高校生之三無四異はまた、無乾乾燥な情熱・胎
 無主義が問われている時々
部 であるが、これについて少
 し考えてみることを述べてみたい。
 この学校に入りては、その流れ
 の中に身を委ねて居る我々は、表
 面的には多量の「無主義」の
 雲、自的的態度を表現するこ
 とが掲げられた。

—能高生はどうなる—

つては言えない。文化祭の種々のこと、体育会など、何かまぎってゐる。(また、自発的行動するとき)には、賛成では見れない。その努力が感じない。しかし、これが一時的もので、平常の生活にとた、問題になることは、その情勢と多現する。手段をばつて、生徒が持たへてゐないのである。生徒会や学級の行なう行事に対して、受動的な形が自分達の熱を受けかねないものである。つまり自の進で

現在の諸君生々の多くは受験が重視されてゐない。受験は重視してゐない。しかし、生徒自の底であるのは受験の一層自に制約ある行なはずだ。それが潜行的に、欲望に押し進められる。例に引れば、それが良し悪しをこころは問わ

問題提起

した總會

この臨終會を以てして見た
ところ、臨終の事務は運方大さ
な團體が取りつた。一昨、質問者
に云ふ、その度には口頭で指
示されてゐる。發言者がエサ
トとして、議長を通じて發言す
る場合がある。(實際にあつ
た)。

今回の總會における質問は、眼
点がやはりいふ事であるが、
あの質問者は、學級で十分な
論をして、生徒會員會議

に、それが受けるメーソはあ
り、あまりにも撃てる。それを
破するは、現の、夜時として
閉幕だが六時半に移つてとい
は、開放から三時半まで二三

る、五月十日二時から三時半、体育館において生徒総会がは、一弁論部に部員

のに、予算をおくのはおかしい。その予算を予備費という名目にしておいたらどうか。」という趣旨のものだった。（これは結局全校で

いふものごとながら体育館全
て、発言者の声がとおらないと

それは、在任中の職へしにばかりでない。發言者の言ことが聞えないに過ぎずして會そのものを運営してはいるだろうか。すにこの點で生じては中断されたのである。この一度、自分たの高位資格を考慮してみなれたが、三無、四無と云いわけ

阿 部 強

[illegible]

三角点

退廃的生活を打破することになるだろう。

中和通り TEL 2-0068

島 町 TEL (01855) 2 - 3 7 4 0